

株式会社 内山熔接工業

DX宣言書

2025年6月20日
株式会社 内山熔接工業
代表取締役社長 内山 哲也

□ 経営理念

我々の会社を我々の手で良くし、現状に満足する事なく、常に未来に向かって技術力を高め、社会に貢献する企業を目指す

□ DXビジョン(2～3年後にありたい姿)

- ◆ デジタル技術を活用した業務改革を通じて「生産性の最大化」と「柔軟な働き方」の両立を実現し、社員ひとりひとりの幸せを高めます
- ◆ DX推進の担い手である社員の力を軸に、現場知とテクノロジーを融合、絶え間ないイノベーションを推進し、変化に強い組織へと進化し続ける技術集団を目指します

□ DX戦略・施策

➢ フェーズ1(現在 ~ 2026年2月)

戦略 「DX加速に向けた現状分析と、課題抽出を踏まえた実行計画の策定」

施策 ・ 現場・バックオフィス業務における顕在・潜在課題の分析、およびデジタル化視点での対応策をリストアップ

【具体例】

- 在庫・生産管理システムによる一元管理
- 多様な部品表(BOM)管理の効率化
- 勤怠管理・給与計算の自動連携
- ・ デジタル変革を実現するための基本方針・施策を明確化し、全社的なDX実行計画を策定
- ・ 全社的なDX機運醸成と実装力強化に向けた説明会、および定期的なリスクリング勉強会を実施

➢ フェーズ2(2026年3月 ~ 2027年2月)

戦略 「デジタル化による業務プロセスの改革」

施策 ・ フェーズ1にて策定したDX実行計画の実施

- ・ 部品表(BOM)管理領域のデジタル技術導入による製造プロセスの高度化
- ・ 品質管理の高度化に向け、AIを活用した目視検査の自動化を推進
- ・ 業務効率と正確性を両立するID・ハンディ・申請機能を統合した勤怠管理システムの実現
- ・ 技能継承とスキルアップを支えるデジタル人材育成プログラムの構築
- ・ 製造工程におけるノウハウを共有する仕組みを作ることで、経験豊富な職人技術を伝承

➢ フェーズ3(2027年3月 ~ 2028年8月)

戦略 「DXの全社的な定着・実装による業務変革と、新たな価値創出」

施策 ・ マネジメント強化に向けた人事評価制度のデジタル化・最適化

- ・ デジタルソリューション(例:IoT、AI)を基盤とした業務効率化の推進や生産能力の更なる安定化
- ・ リアルとバーチャルを融合したデジタルツイン活用による生産性の向上
- ・ 品質管理領域におけるデジタル技術の活用範囲拡大を検討
- ・ DX実行計画の進捗評価と環境変化を踏まえた次期DX実行計画の検討

□ DX推進体制

- ・ 代表取締役社長がDX推進における実務執行統括責任者を務めます
- ・ DX推進チームがDX戦略の実行主体として中心的な役割を担い、部門横断的な調整および推進を行います

□ DX推進目標

- ・ 定期勉強会の実施 : 年4回以上(~2026年2月)
- ・ 生産リードタイムの短縮 : 30%以上(~2027年2月)
- ・ 従業員満足度の向上 : 70%以上(~2028年8月)